［ 診療補助部 ］

医療情報システム室

課長　和田　耕一

1 業務体制

医療情報技師（課長）

医療情報システム管理（２名）

●人員構成(2025年4月1日～2026年3月31日)

職員数		2025年度(対前年度)		
2024	2025	増員	減員	差引
2	3	1	0	+1

【資格保持】

・医療情報技師(１名)

・OracleMaster GOLD(１名)

2 業務内容

・電子カルテシステムなど病院内システムの運用管理・保守
・電子カルテのマスター管理、操作トレーニング
・電子カルテの情報セキュリティ管理
・情報セキュリティの啓蒙
・電子カルテシステムからのデータ抽出
・電子カルテ管理委員会の事務局としての運営
・電子カルテの障害対応
・病院情報システムの管理、企画立案
・病院情報ネットワークの管理、企画立案
・病院情報システムに係る院内各部門との連携・調整
・ITに関する資産管理
・サイバーセキュリティに関する情報収集と対策立案
・医療DXの推進
・個人情報保護対応
・大規模災害BCP対策
・医療情報の利活用

3 業務状況

2025には電子カルテシステムを従来のMIRAISからSSIの電子カルテに変更を行い、今まではできなかったデータの抽出などを容易に行うことができるようになった。

4 特に力を入れたこと

・電子カルテを更新したあとに変更された運用もあるため、院内で業務が滞ることがないようにサポートした。
・引き続き生成AIの活用とRPAを導入して電子カルテと組み合わせて業務改善ができるような環境を整えた。
・情報発信を目的に対外発表に力を入れて、結果的に年間で２題を発表することができた。
・ローコードアプリを使ってYMG統括連携室で使用する患者転送時の情報共有アプリを内製化で作成して10月より運用を開始した。
・サイバーセキュリティ対策として院内で机上のサイバーセキュリティ対策のシミュレーションを２回行った。
・院内でDX推進委員会を立ち上げて、さらなるDX推進を行った。

5 今後の課題

・引き続きサイバーセキュリティ対策に関する情報を収集していき、不測の事態が起こらないようにするとともに、再発時の対応において混乱を招かないようにしていきたい。
・生成AIをさらに活用して職員の業務効率につなげていきたい。
・RPAも稼働から１年が経過したため、今年は効果測定を行い学会発表につなげていきたい。
・ローコードアプリを部門内の業務に活用して職員の利便性を上げていきたい。